



No.3548

第3866回例会
令和7年4月9日

OBIHIRO ROTARY CLUB DISTRICT 2500

会長 村松一樹

方針「Rotary Pride!」

2024-25年度国際ロータリーのテーマ ロータリーのマジック

■会長報告



村松 一樹 会長

本日は4月2日に開催された理事会のポイントをお伝えします。詳細は議事録を参照願います。

3月29日に創立90周年記念式典を終え100周年に向かうにあたり議論しなければならないひとつの課題が会計です。昼食代値上げ(1,870円→2,300円)、人頭分担金UP等を受けて、会員増強すればするほど赤字幅が増えてしまうのが現状であり、対策が必要です。考えられる対策案は①会費値上げ、②例会回数削減等によるコスト削減、③より厳しい予実算管理、④寄付の方の見直し(現状一般会計からも捻出)等です。創立100周年記念式典の規模の議論等を経た会計シミュレーションを千葉会計に、対策案出しを中長期ビジョン委員会に依頼しました。会員皆さんと内容をしっかり共有したうえで議論を進めていきたいと考えます。残すべき歴史と伝統を大切にしながら誇りをもって進んでいきましょう。以上、会長報告とさせていただきます。本日も、よろしくお願いします。

■会務報告

大江 平幹事

①帶広東RC、4月17日(木)の例会は、休会と致します。

②帶広南RC、創立記念夜間例会開催のご案内

日 時 4月21日(月)午後6時30分

場 所 北海道ホテル

③帶広北・帶広東・音更、3RC合同夜間例会開催のご案内

日 時 4月25日(金)午後6時30分

場 所 ホテル日航ノースランド帯広

※尚、帶広東RC、4月22日(火)の繰下げ例会と致します。

④帶広南RC、4月28日(月)の例会は、休会と致します。

帶広東RC、4月29日(火)の例会は、祝日のため休会と致します。

帶広RC、4月30日(水)の例会は、休会と致します。

帶広西RC、5月1日(木)の例会は、休会と致します。

帶広北RC、5月2日(金)の例会は、休会と致します。

帶広南RC、5月5日(月)の例会は、祝日のため休会と致します。

帶広東RC、5月6日(火)の例会は、祝日のため休会と致します。

■委員会報告

<マルチプル・ポール・ハリス・フェロー表彰>

小白 智志 会員(6回目)

國枝 千秋 会員(4回目)

小倉 豊 会員(4回目)

村松 一樹 会員(3回目)

飛岡 抗 会員(3回目)

佐藤 真康 会員(2回目)

大江 平 会員(1回目)

石神 美代 会員(1回目)

小水 基弘 会員(1回目)

<ポール・ハリス・フェロー表彰>

五十嵐 聖二 会員 櫻井 博一 会員

<第5回米山功労者表彰> 工藤 大輔 会員

<米山記念奨学委員会 河村委員長>

4月17日開催「ワインで育む未来と友情」のご案内をいただきました。当日は相澤ワイナリーの相澤代表が限定200本のワインを出してくれる予定です。利益を一切とらず10,000円の価値があるなかで5,000円を寄付できる企画としました。出欠管理システムでご案内させていただきますので、多くの皆様にご参加をいただきたくお願いします。ご家族・ご友人の参加も歓迎します。

<ニコニコ献金>

(親睦活動委員)

<鍋田 大樹 会員>

2024年度サステナブルブランド国際会議全国大会に北海道代表として帶広大谷高校が出場しました。その報告会を4月19日(土)に行いますので、少しでも関心を持っていただけましたら参加をお願いします。BOXにチラシを入れています。

<荒井 純一 会員>

本日、広報委員会でプログラムを担当させていただきます。よろしくお願ひいたします。

<誕生記念日祝(4月)> 五十嵐 聖二 会員

<出席表彰記念> 五十嵐 聖二 会員(13回目)

■出席報告

会員総数:89名(内 免除会員2名)

出席者数:56名(内 免除会員0名 内zoom参加者4名)

本日の出席率:64.4%

■次週プログラム予定

4月16日(水)「魅力こそ最高の会員増強」(会員増強委員会)

■プログラム（広報委員会）

「広報委員会 活動のご報告」

「北海道を取り巻くエネルギー情勢とカーボンニュートラル実現に向けた取り組み」



大友 一弘 会員

[2024-25年度] 広報委員会活動のご報告

2025年4月9日
帯広RC 広報委員会

①例会のzoom配信

✓ 終じて安定した配信が継続できています。
・会場音声がzoom参加者側に届かないケースは応急処置を施して対応・・・、
原因解明が困難な部分もあり、引き続き運用でのカバーも含め対応していきます。

✓ 例会において、約1割の参加者がzoomでの参加となっています。

例会参加手段（リアル・zoom）

例会参加手段 (リアル・zoom)

月	リアル (%)	zoom (%)	合計 (%)
7月	~22%	~18%	~40%
8月	~20%	~18%	~38%
9月	~18%	~20%	~38%
10月	~15%	~25%	~35%
11月	~12%	~28%	~35%
12月	~10%	~30%	~35%
1月	~8%	~32%	~35%
2月	~6%	~35%	~35%
3月	~4%	~38%	~38%

①例会のzoom配信

✓ zoom参加時はマイクをミュートにしていただくようお願いします。
(プログラム進行中のこともあるため特に途中入室するケース)

✓ 例会中に「聞こえづらい」等の連絡事項があればチャット機能をご利用ください

②新ホームページのリリース

✓ 3月21日、帯広ロータリクラブの新ホームページをリリースしました。
✓ 事前レビューを含め、ご協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。

③会報誌（PDF）の作成

✓ 会報誌はホームページに掲載しています。

③会報誌（PDF）の作成

④会報誌（PDF）の作成

✓ 例会でスマートな進捗、会報誌の早期完成（HPへの掲載）を目的として、以下の2点について、ご協力をお願いいたします。

①卓話等の撮影原稿は、例会前日までに広報委員会へ連携をいただきますよう、よろしくお願ひいたします。

<送付先>
広報委員会アドレス：obihiro.rc.2022@gmail.com
荒井：jari2@ompo-japan.co.jp
三谷：imitami@rtrc.ocn.ne.jp
大友：photomok@hepco.co.jp

②会報誌への掲載原稿は、例会翌日に広報委員会へ連携をいただきますよう、よろしくお願ひいたします。

（掲載原稿をそのまま掲載して問題ない場合はご対応不要です。）

北海道を取り巻くエネルギー情勢とカーボンニュートラル実現に向けた取り組み

2025年4月
北海道電力（株） 大友 一弘

道内における電力需要の拡大

✓ 北海道の豊かな自然や再生可能発電事業の適地としてのボテンシャルを背景に、次世代半導体工場やデータセンターなどの企業進出が計画されています。
✓ 中長期的には道内の電力需要規模の大幅な増加が見込まれるため、ほくでんグループの経力を挙げて対応していきます。

<道内における電力需要の拡大（イメージ）>

増加する電力需要への対応

✓ 中長期的な電力需要の増加に加え、既存発電所の経年化が進む中においても、引き続き、電力の安定供給を果たしていくため、当社は石狩湾新港発電所2号機の建設、運転開始時期を前倒すとともに、脱炭素のベースロード電源である泊発電所を最大限活用しています。

北海道のカーボンニュートラルのイメージ

✓ オール北海道での福広（連携）協力に努め、脱炭素化や経済の活性化や持続可能な地域づくりに向かって進める「ゼロカーボン北海道」の実現に貢献していきます。

ほくでんグループによる再生可能エネルギーの開発

✓ ほくでんグループでは、既に再生可能エネルギーを179万kW保有しています。
✓ 北海道で水力発電や風力、風力発電および地熱発電など幅広く再生エネ発電の新規開発等で、「2030年までに30万kW以上増加」という目標を早期に達成し、その後も積極的な構造変換を目指します。

泊発電所 新規基準適合性審査への対応状況

✓ 3月14日、泊発電所3号機原子炉設置変更許可申請書の補正書を提出しました。

（参考）主要な審査項目と審査の流れ

✓ 原子炉設置変更許可に関する審査は、大きく2つ（地盤・津波等に関する審査、プラント施設に関する審査）に分けられて行なわれています。

泊発電所再稼働に向けた取り組み～防潮堤の設置～

✓ 北海道の日本海側に存在する断層から想定される地震に伴う津波と、陸上地すべりによる津波の組合せを考慮した津波（基準津波）を想定し、高さ海拔1.5メートルの防潮堤を設置します。

【構造】コンクリートおよびセメント改質土による岩盤支障構造

【工事】工事期間：約1000日間、設工事：約1,100億円

【完成】完成予定期間：2024年3月28日

【監視】未定（工事終了後3年程度を目標としており、監視期間中の津波の現象を自ら見て取り扱っていく予定です）

【監視スケジュール】

燃料等輸送船の漂流物化防止策

✓ 当社は、安全性の確保を目的に、泊発電所専用港湾に停泊する燃料等輸送船が津波に伴い漂流し、防潮堤など津波保護施設を損傷させることを防ぐ対策として、燃料等輸送船を泊発電所専用港湾に係泊させ、燃料等の搬入を行う荷揚場を専用港外に設置することを検討しています。

✓ 現在、燃料等を専門で円滑に輸送することを考慮し、以下を検討しています。

①荷揚場は泊発電所に近い泊村内に新設すること
②荷揚場と泊発電所を結ぶ道路や専用道路の整備すること
→引き続き、荷揚場の新設に向けて、原子力規制委員会はともり、その他関係機関、地元の皆さんはじめ、道民の皆さんご理解いただけるよう、しっかりと説明を進めてまいります。

【参考】安全対策設備の配置イメージ図

【参考】泊発電所バーチャルサイト

泊発電所の地図や企画資料などを想像的に見学いただける「泊発電所バーチャルサイト」を公開しています。
(https://www.hepco.co.jp/tomari-virtual/index.html)



↑携帯サイトが
できました。
バーコードリーダーで読み込む
事ができます。

例会日 / 水曜日 12:30 ~ 13:30 例会会場 / ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

- 創立 / 昭和10年3月15日 ●認証番号 / 3820 ●戦後再開 / 昭和25年12月19日
- 事務局 / 帯広市西3条南9丁目 経済センタービル4F TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033
- 発行 / クラブ広報
- 委員長 / 荒井 純一 副委員長 / 高原 淳・三谷 郁央
委員 / 大和田三朗・千葉 直樹・林 淳也・大友 一弘
- ホームページアドレス <http://www.obihiro-rc.jp>

